

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもコミュニティルーム たいよう		公表日 2025年2月24日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		学習スペース・運動スペースを分けている。運動スペースの床面を2色に色分けし、視覚にて確認できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		配置基準以上のスタッフ配置に努めている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		運動スペースと学習スペースを分けている。双方のスペース床に畳を敷き、転倒時のけが予防への配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		日々の危険箇所点検、清掃にてこどもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・個別の部屋はないが、必要に応じてパーティションなどで環境を整える。 ・個別ではないがパーティションで仕切り環境を状況に応じ作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		普段のミーティングにおいて、情報共有を図っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			保護者評価表内容を受け、スタッフ間で話し合いの場を設け、改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		普段のミーティングにおいて、情報共有を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		今後必要性を含め、検討課題とする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		研修受講には積極的に参加できる勤務環境に努めている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		令和6年度中に支援プログラムを作成し、ホームページにて公表の準備を進めている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・モニタリング後の担当者会議において、スタッフからの意見を含めた計画書作成を実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		担当者会議での話し合いにて本計画内容の確認を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		児童の様子については、情報シートを作成し、共有を図っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		必要に応じたサポート内容を設定しているが、成長過程における変化に対して日々のミーティングにて共有を図っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		こどもたちが楽しい時間を過せるよう、スタッフ間で話し合いを行い、プログラムの立	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		プログラムで臨むことを行い、プログラムを立案・工夫に努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個々の特性について理解を深め、個別・集団活動を組み合わせたサポートを実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		ミーティングにおいて、当日の利用予定児童の確認、サポート体制の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	情報シートへの記入作業の際、スタッフ間で児童の様子、サポート内容の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月毎にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		代表社員・管理者・児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		行政との連携を密に取り、サポート体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			連携を密に図っていけるよう、小学校や支援学校への働きかけを進めていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		児童発達支援センターとの連携を図っている。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2		地域の公園等にお出かけをした際、公園内で交流する機会はあるが、今後、交流が図れる企画等を考える。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		利用中の出来事に関しては連絡ノート、公式LINE、お迎えのタイミング、送迎対応時を活用し、情報共有を図っている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2		今後、イベント開催等を企画し、交流機会を設けていけるよう努める。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		本人が抱える課題、親御さんからのニーズをできる限り盛り込んだ個別支援計画書作成に努め、説明をした上で、サインをいただいている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		計画書内容を説明した上で署名をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		親御さんからの相談ごとに対して、傾聴し、できる範囲での助言に努めている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		今後、父母の会活動への支援、保護者の交流機会を企画するよう、努めていく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1		2025年4月から随時更新を進めていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取扱いには十分留意している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡ノート、公式LINEを活用し、意思疎通、情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		今後、イベント開催等を企画し、交流機会を設けていけるように努める。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアル作成、想定訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1		BCP内容を検討しながら策定中。今年度末までに計画内容をまとめる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		契約時、アセスメントシートを作成。服薬状況、てんかん、アレルギー症状等の確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アセスメントシートに記載があったアレルギー症状に関して、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		日々、危険箇所点検を行い、安全管理に努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		体調不良時の緊急連絡、警報発令時の対応等、家族への周知を行っている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ミーティングの中でヒヤリハット事例の検証、再発防止に向けた話し合いを実施している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		社外研修への参加。社内伝達講習にて適切な対応を心がけている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		利用契約時に契約書・重要事項説明書内にて説明をしている。	今後作成する計画書内への記載を進めていく。	